

自ら動き、知的探究心を高める！

研究会

Study group introduction

紹介

RBSで活動が行われている研究会と注目の院内活動を紹介します。

ビジネスデザイン研究会

裏履修相談会

文 / 15期生副代表 福澤雄太

4月4日と4月5日、「裏履修相談会」を開催しました。「裏履修相談会」とは、新入生の方々が現役の二年生に対して、履修する授業について質問することができるイベントです。

先輩たちから気軽に学生目線の授業の魅力を知ることができ、並行して開催されている先生方主催の「履修相談会」と共に毎年ご好評を頂いています。

今回も多く16期生の新入生の方々に参加頂き、先輩1人に対して

16期生の方が2~3人という、時間帯もあるほどでした。実際に何名かと話をしたところ、会計・統計・ファイナンス

などの半必修授業を受講する時期に悩まれている方が多いようでした。また、興味のある分野に絞って履修を組むか、苦手な分野も含めて幅広く履修した方が良いかを相談される方もいらっしゃいました。履修の組み方は人それぞれですが、RBSでは「ゼネラリストのスペシャリスト」の育成



を目標としているため、まずはマーケティングや会計学などの基礎知識を学んだうえで、経営戦略論などの応用科目を履修することが1つの方法と言えるのではないのでしょうか。ビジネスデザイン研究会では、学生同士の学びや交流を深めるための活動をこれからも続けていきます。



ホスピタリティ研究会では実際の企業や施設を訪問し、ホスピタリティを体感する目的で、隔月1回のペースでフィールドワークを行っています。

6月4日(日)には、広告系撮影プロダクションである株式会社ヒューの撮影スタジオを訪問しました。ヒューは

ンスタジオやカフェラボ、ケーキラボなどの設備を見学させていただきました。

参加した学生の殆どはこのよう撮影スタジオを見るのは初めてで、とても新鮮で貴重な経験となりました。ヒューの撮影スタジオは、仕事の効率を考えた作りであると同時に、働く人たちが

ホスピタリティ研究会

広告用写真・動画制作会社訪問

文 / 15期生代表 山本星

主に料理や食材を中心とした広告や商品パッケージの撮影を行っている会社です。

当日は6名の参加があり、大手社長の内々でキッチン

気持ちよく仕事に打ち込める工夫がされており、一見すると無機質なスタジオの空間の中でもとても温かみを感じられました。

スタジオ見学後、大手社長より会社のこれまでの歩みと、ホスピタリティについてお話していただきました。その後、大手社長が自ら食事を用意してくださり、大手社長を囲んで語り合いました。料理の盛り付けも美しく、各々写真を撮るので、まるで食の撮影会のような様子でした。

ブランディング研究会

素晴らしい先生と仲間と共にマーケティングの真髄を知ろう

文 / 16期生事務局 小酒井卓也

当研究会では、RBSでブランドマーケティングの講義を担当されていた築瀬先生によるリベラルアーツ(経営、経済、政治の最新情報)やブランディングを中心とした講義、参加者によるディスカッションを行っています。築瀬先生はAGF(味の素ゼネラルフーズ)やクラフトフーズ社、米デュボン社などの企業で、欧米流のマーケティングを行ってきたプロのマーケティングです。例えば、誰もが知っているインスタントコーヒーのブランド「ブレン

ディ」、実は築瀬先生がAGF時代に生み出したブランドです。実務経験豊富な先生の講義は毎回好評で、先生がRBSの特任教授を退任された今でも受講生が集まり、現在では研究会が始まってから7年目に入りました。

活動は月一回程度で、日曜日午後で開催しています。参加者は流動的で、毎回10~20名でRBS現役生や修了生は勿論、他MBAの方や、先生、参加者の友人等、多様な顔ぶれが集



まり交流をしています。

色々な人と交流をしたい方や実務に近いマーケティングの手法について学びたい方はお気軽に参加ください。興味を持たれた方は以下のアドレスにご連絡をお願いします。

17vg125l@rikkyo.ac.jp



川村 師大 16期生
Kazuhiro Kawamura

常に向上心を持ち、 日々を充実させていく

私は2017年3月に大学を卒業し、4月に立教大学大学院ビジネスデザイン研究科(RBS)に入学しました。入学を決めた理由は、2つあります。1つは社会経験豊富な先生方から実践的な知識を学べるからです。もう1つは本年度より制度の変更があり、学部を卒業するとともに入学できるようになったからです。多くの社会人の方と一緒に学ぶチャンスであり、視野を広げることができると考えました。実践的で深みのある知識を身につけ、視野を広げることで自分の価値を高めたいと強く感じました。

ビジネスデザイン研究科での学生生活は、とても充実しています。ただ単に座って聞く授業ではなく、グループワークやディスカッションを通して自らの意見を述

べる授業が多いため、刺激を受けています。社会人や留学生の方々とグループを組むので、多角的な視点で問題に取り組むことができます。日々の授業で得た知識を活用して議論を深めながらゴールへと進めていく感覚は、私にとってとても新鮮で、勉強になります。また、実際の企業に対してコンサルティングを行う授業もあり、毎日得る知識を少しでもクライアント企業のために役立てられないかと考えています。知識を自分の中に留めるのではなく、いかに活用していくか、問題意識を高めて取り組んでいくかを常に考えるようになりました。

振り返るとあっという間の4ヶ月でしたが、実務未経験の私には大変充実した日々となっているように感じます。

R | B | S | だ | よ | り — 入学してからの感想 —

ダイバーシティの環境で、 成長の道を探していく

今年の春、「キリスト教に基づく教育」の精神にあふれた、「自由の学府」である立教大学に入学しました。入学してからあっという間に4ヶ月が経ち、立教大学大学院ビジネスデザイン研究科(RBS)の学生の視点から立教の「自由さ」を解読したいと思っています。

RBSは成長したい人にとって、最適な環境を提供しています。戦略系、金融系、会計系、人事系といった幅広い科目の中で、自身が求めているキャリアに最もふさわしい学習プランを構築できます。戦略系の研究をしたい私は、BtoBマーケティング、グローバル経営戦略、クリティカルシンキングといった科目を中心に春学期の学習プランを立てました。問題意識を深掘りするというアプローチ手法を習得しながら、同じ問題に対して各分野の考え方に触れることができ、多角的に解決策を導き出そう

とする姿勢が養成されると同時に、ビジネス現場での知恵を身につけられ、自分自身が成長できることにも強く期待しています。

また、専門知識だけではなく、素敵な先生とクラスメイトたちに出会えたことで、様々な貴重な体験ができました。普段の授業以外に、自分自身を高めたいと思い、全国のMBAの学生が一つのケースに対してコンサルティングを行うJBCC(日本ビジネススクール・ケース・コンペティション)に参加しました。社会人学生2名、私と同じ学部新卒1名のチーム4人で共に課題に挑戦した経験は今春最も忘れられない思い出となりました。RBSではチャレンジの機会が多く、勉強にとっても適した環境をいかに活用するのか、自分の積極的な行動次第だと思っています。

RBSは各分野における第一人者の先生と様々な業界のビジネス実務者が集ま



劉 甦曉 16期生
Sogyou Ryu

った多様性のある研究科として、誰でも自分なりの成長方法を見つけられます。特に私のような学部新卒の学生には、高い知見を有する方々と切磋琢磨することで、人との接し方、柔らかい物腰も身につけられます。これからも、物事に対して常に「勉強しよう!」という心を持ちながら、芯の強さを磨いていこうと決意しました。